



学校だより

令和3年度4月号
令和3年 4月8日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

令和3年度の始めにあたって「かしこく・美しく・たくましく」

校長 小林 正樹

桜の花も満開となり、さわやかな春の日差しが眩しい季節となりました。保護者の皆様方、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。この度、大谷口中学校第17代校長として着任いたしました小林正樹でございます。よろしくお願ひいたします。

今年度、234名の新入生を迎え、生徒数701名、通常学級19クラス、特別支援学級2クラスの計21学級、そして58名の教職員で令和3年度の教育活動をスタートいたします。今回の人事異動では19名の教職員が転出又は退職され、新たに21名が着任されました。多くの入れ替わりになりましたが、伝統ある大谷口中学校の良さを受け継ぎ、生徒、保護者、地域の期待に応え、信頼され、愛される学校づくりをさらに目指し、教職員一同全力で取り組んで参ります。

さて、年度の初めにあたり、学校経営の基本方針についてお知らせいたします。今年度のスローガンを

「自分に自信をもち、自分や周りの人を大切にできる生徒の育成」
～大谷口中学校は自分に自信がもてるように、あなたを応援します～

と致しました。

- (1) 生徒の学校生活における様々な不安を解消し、生徒と生徒、生徒と教職員、保護者と教職員の心の通い合いのある温かな雰囲気の間関係の醸成に努め、生徒、教職員がやりがい、生きがい（自己肯定感）を感じられる学校づくりを推進する。
- (2) いじめ防止基本方針を踏まえ、自分の命を大切に守り自他の人権を尊重し、他者の痛みを共有できる心、いじめを許さない心、差別を許さない強い心を育てる。
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、生徒の実態を踏まえたうえで、ICTを積極的に活用した授業改善を図り生徒の主体的・能動的な学習態度を育む。
- (4) 家庭・地域との連携を大切にし、信頼され、愛される学校づくりを推進する。また、小・中一貫教育を踏まえ、関係小学校と学びの連続性を充実させる。
- (5) 「わかりやすい授業」の展開と反復等により、基礎・基本の確実な定着に努め学力の向上を図る。さらに、「SDGs教育」などを通して、「教科横断型」の探求的な学びを推進する。

新型コロナウイルス感染症は全世界で猛威を振るっていますが、我々も自分や家族、社会を守るため、感染症防止に努めなければなりません。併せて大谷口中学校での感染症拡大防止と生徒の安全確保のために取り組んでいきます。

本校の教職員一同は、学校教育目標の達成のため、学校経営の基本方針を踏まえ全ての力を結集して、毎日の教育活動を行って参ります。保護者、地域の皆様方には、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。